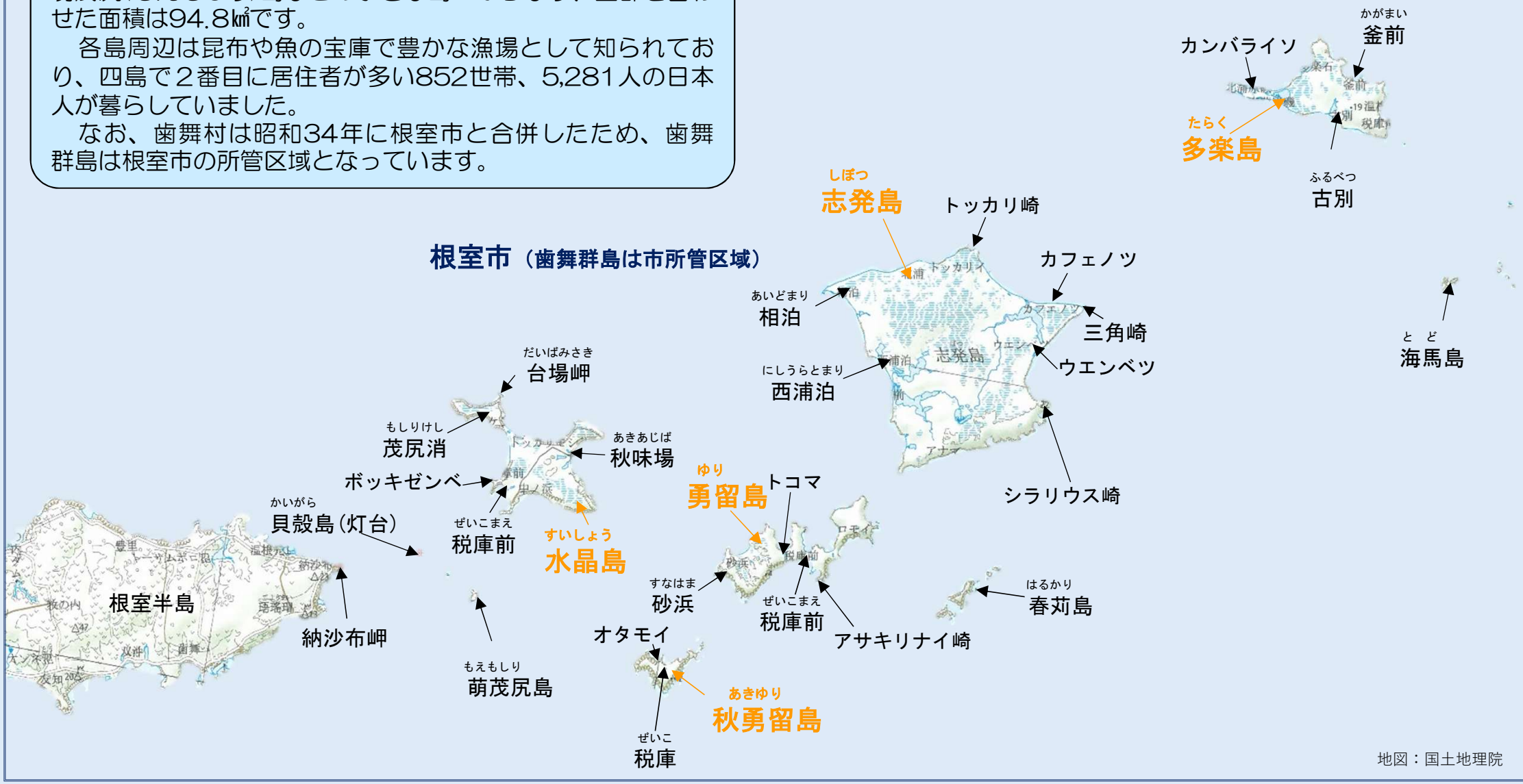
歯舞（はぼまい）群島　～宝の島々～

歯舞群島は根室半島にあった歯舞村の一部で、最も大きい志発（しぼつ）島、多楽（たらく）島、水晶（すいしょう）島、勇留（ゆり）島、秋勇留（あきゆり）島のほか、貝殻（かいがら）島や萌茂尻（もえもしり）島などの小さな島々からなり、全部を合わせた面積は94.8㎢です。

各島周辺は昆布や魚の宝庫で豊かな漁場として知られており、四島で２番目に居住者が多い852世帯、5,281人の日本人が暮らしていました。

なお、歯舞村は昭和34年に根室市と合併したため、歯舞群島は根室市の所管区域となっています。



地図：国土地理院